

160

稲<sup>いね</sup>が ゆたかに みのり ことしは だいほうさくだ。

160		

159

みぶんしょうめいしよを みせる。

159		

158

とりよくして ふ<sup>か</sup>可<sup>か</sup>のうを 可<sup>か</sup>のうにする。

158		

157

せきゆから いろんな せいひんが せいぞうされる。

157		

156

ははには わふくが よく にあう。

156		

たしかめ
32
名 前

160	159	158	157	156
豊	証	能	製	似
稲 <sup>いね</sup> が豊かに実り今年は大豊作だ。	身分証明書を見せる。	努力して不可能を可能にする。	石油からいろんな製品が製造される。	母には和服がよく似合う。

161

がっこうの しゅうい を フェンス で かこむ。

162

しゅうだん とうこう で がっこう に いく。

163

しっぱいの けいけん を へて せいちよう する。

164

きの みきの よう に ほん を 貫<sup>つ</sup>く しんかんせん。

165

は やおき を つづけて なれて いま では しゅうかん。

1 6 5	1 6 4	1 6 3	1 6 2	1 6 1
慣	幹	経	団	囲
早起きを続けて慣れて今では習慣。	木の幹のように日本を貫く新幹線。	失敗の経験を経て成長する。	集団登校で学校に行く。	学校の周囲をフェンスで囲む。

166

ぼうさいに かんする てんけんを おこなう。

167

いし垣<sup>かき</sup>を きずき あづちじょうを ちくじょうした のぶなが。

168

てつの げんりょうと なる てっこうせき。

169

やまやまが つらなった さんみやく。

170

こうくうびんで にもつを おくる。

170	169	168	167	166
航	脈	鉦	築	検
航空便で荷物を送る。	山々が連なった山脈。	鉄の原料となる鉄鉦石。	石垣 <sup>がき</sup> を築き安土城を築城した信長。	防災に関する点検を行う。

171

しちねんをついやしたかくのひようをかけたくろべダム。

171

172

どりよくしたおかげでせいせきがあがった。

172

173

じょうせつのそうだん窓ぐちをもうけた。

173

174

いごちのいいとかいてんきよする若もの。

174

175

おんこうでにんじようにあつい私のそふ。

175

176	175	174	173	172
税	費	枝	綿	型
国民の税金で政治が行われる。	七年を費やし多額の費用をかけた黒部ダム。	木の枝や葉を枝葉ともいう。	綿から作った綿織物。	型紙を使って作る模型飛行機。



176

うまが あばれて みちを ぼうそう。

177

にどと しっぱいは ゆるされない。

178

この さきは きよか が なければ はいれません。

179

しやざいとは 「ごめんなさい」と あやまること。

180

やさいを とりには たけへ いく そぼ。

180	179	178	177	176
採	謝	可	許	暴
野菜を採りに畑へ行く祖母。	謝罪とは「ごめんなさい」と謝ること。	この先は許可が無ければ入れません。	二度と失敗は許されない。	馬が暴れて道を暴走。

181

やすくて うまいと ひょうばんの ラーメンでん。

181

182

がつこうの じゅぎょうで いちばん すきな たいいく。

182

183

緊きんきゅうの じたいに そなえ ひじょうじゅう袋ふくろを じゅんびする。

183

184

こうしゃの おくじょうまでの たかさを はかる。

184

185

こうえんで にんぎょう劇げきの こうえんを みた。

185

185	184	183	182	181
演	舎	備	授	評
公園で人形劇 <small>げき</small> の公演を見た。	校舎の屋上までの高さ <small>たかさ</small> を測る。	緊急 <small>きん</small> の事態に備え非常袋 <small>ふくろ</small> を準備する。	学校の授業で一番好きな体育。	安くてうまいと評判のラーメン店。

186

こくみの ぜいきんで せいじが おこなわれる。

187

benkiyō ya shigoto igai no amatta jikan ga yōka.

188

kimihaga kani naru so shi ga aru.

189

sofu ha kuro u shite zai san o koshita.

190

chōsui ichi no sui riyō ga hetta.

190	189	188	187	186
貯	財	素	余	税
貯水池の水量が減った。	祖父は苦勞して財産を残した。	君は画家になる素質がある。	勉強や仕事以外の余った時間が余暇 <small>か</small> 。	国民の税金で政治が行われる。

191

ふしよくふは、いとでおらないぬのこと。

192

「つげぐちはやめよう。」とともに  
忠ちゅうこく。

193

ぎむきよういくをうけさせるのはおやのつとめだ。

193	192	191
務	告	布
義務教育を受けさせるのは親の務めだ。	「告げ口はやめよう。」と友に忠告。 <small>ちゅう</small>	不織布は、糸で織らない布のこと。